

東北地方 1か月予報

(7月19日から8月18日までの天候見通し)

平成20年7月18日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。

週別の気温は、1週目は東北地方で高い確率が50%、2週目は東北日本海側で平年並または高い確率がともに40%、3~4週目は東北地方で平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

[気温] 東北地方



[降水量] 東北地方



[日照時間] 東北地方



低い(少ない)

平年並

高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

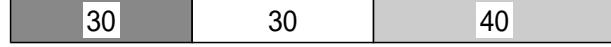
[1週目] 東北地方



[2週目] 東北日本海側



東北太平洋側



[3~4週目] 東北地方



低い

平年並

高い

<予報の対象期間>

1か月 : 7月19日(土) ~ 8月18日(月)

1週目 : 7月19日(土) ~ 7月25日(金)

2週目 : 7月26日(土) ~ 8月1日(金)

3~4週目 : 8月2日(土) ~ 8月15日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は7月25日

3か月予報: 7月24日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	23.1	111.8	194.0	22.0	23.3	23.5
深浦	23.2	142.0	192.5	22.3	23.4	23.5
むつ	21.6	112.3	162.0	20.5	21.8	22.1
八戸	22.3	111.3	182.9	21.2	22.6	22.8
秋田	24.6	156.6	200.5	23.7	24.8	24.9
盛岡	23.4	156.6	164.9	22.6	23.7	23.7
大船渡	22.9	149.5	169.6	21.8	23.0	23.3
宮古	22.1	134.5	171.4	20.8	22.2	22.5
仙台	24.0	144.1	156.7	22.9	24.2	24.4
石巻	23.3	106.4	177.7	22.2	23.3	23.7
山形	24.9	132.5	187.6	24.1	25.2	25.1
新庄	24.0	156.4	185.5	23.2	24.3	24.4
酒田	25.0	151.9	217.8	24.1	25.2	25.3
福島	25.3	130.4	162.7	24.3	25.6	25.6
若松	24.9	132.4	204.2	24.2	25.2	25.2
白河	23.4	182.1	158.1	22.7	23.7	23.6
小名浜	23.5	109.2	192.8	22.5	23.4	23.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ~ +0.7	74 ~ 119	90 ~ 111
東北日本海側	-0.6 ~ +0.5	76 ~ 115	91 ~ 112
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.7	74 ~ 121	90 ~ 112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +1.1	-0.5 ~ +1.2	-0.5 ~ +0.8
東北日本海側	-0.7 ~ +1.0	-0.6 ~ +1.1	-0.6 ~ +0.8
東北太平洋側	-0.7 ~ +1.3	-0.5 ~ +1.3	-0.5 ~ +0.9

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成20年7月18日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月19日~8月18日):

高気圧におおわれる日が多い見込みですが、一時気圧の谷や湿った東風の影響を受けるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

1週目(7月19日~7月25日):

気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間のはじめと終わりは晴れる所があるでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

2週目(7月26日~8月1日):

高気圧におおわれる日が多い見込みですが、一時気圧の谷や湿った東風の影響を受けるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は東北日本海側は平年並または高い確率がともに40%、東北太平洋側は各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(8月2日~8月15日):

高気圧におおわれて、東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

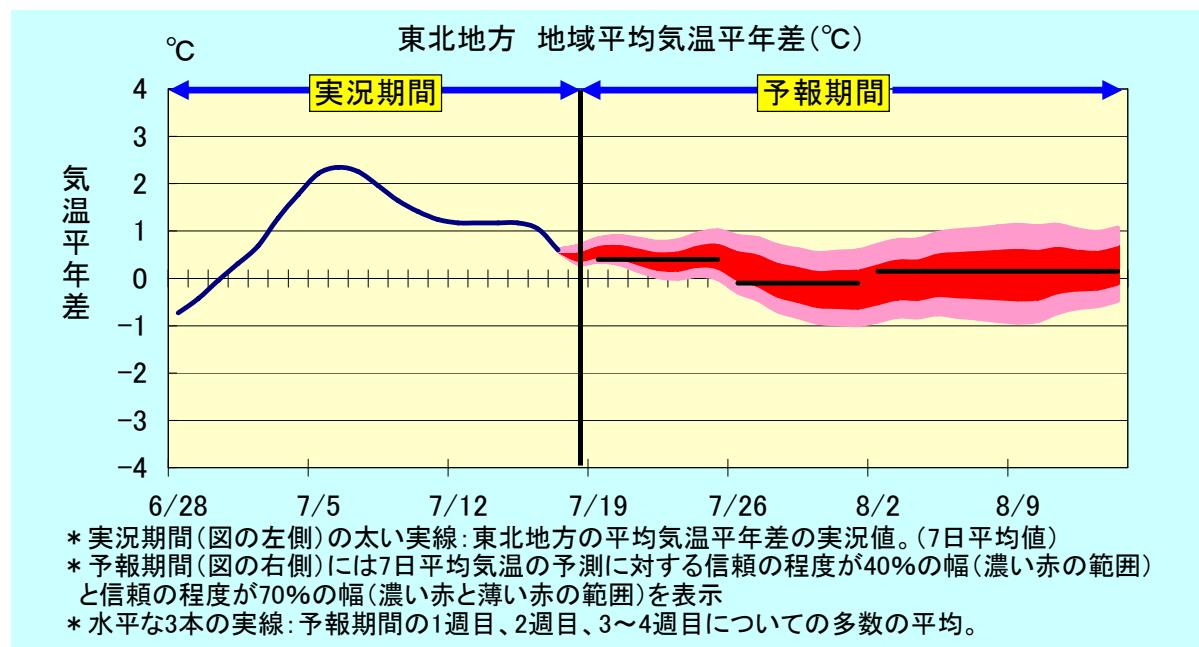
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.5日	3.9日	4.0日	8.6日
東北太平洋側	14.6日	3.3日	3.6日	7.7日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3~4週目いずれも平年付近の予想となっている。予報は、その他の資料から期間を通して高めに考える。

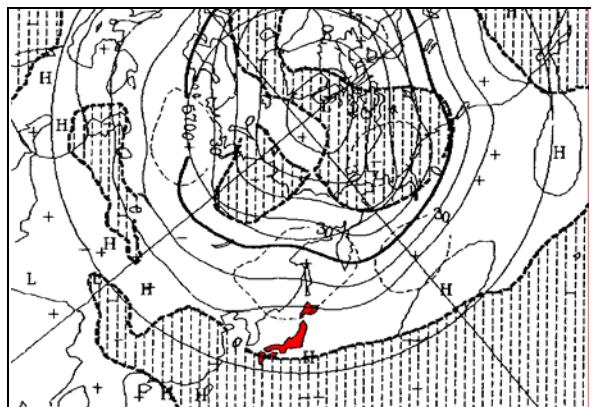


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 極東域は、中高緯度域はサハリン付近を中心に広く正偏差、低緯度域は広く負偏差。東北地方は正偏差で高温傾向が見込まれるが、東北太平洋側はオホーツク海高気圧の影響を受ける時期もある見込み。

1週目: 日本付近は本州以北で正偏差、華中から日本の南海上にかけては負偏差。日本の東海上で高気圧の勢力が強いため、南からの暖気が入りやすく、気温は高くなる見込み。

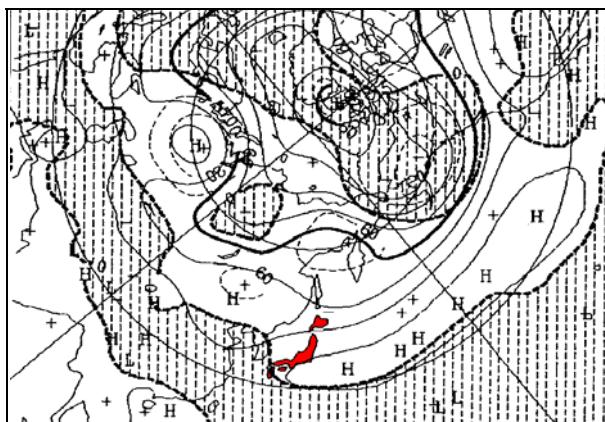
2週目: 引き続き本州以北は正偏差、日本の南海上は負偏差。日本の北側では沿海州付近で気圧の尾根、千島近海で気圧の谷となっていて、東北太平洋側はオホーツク海高気圧の影響を受ける可能性もある。



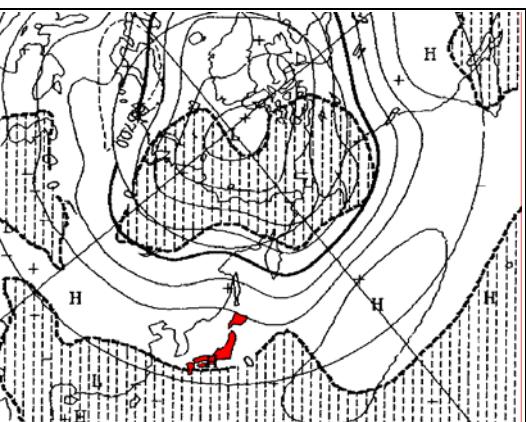
1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

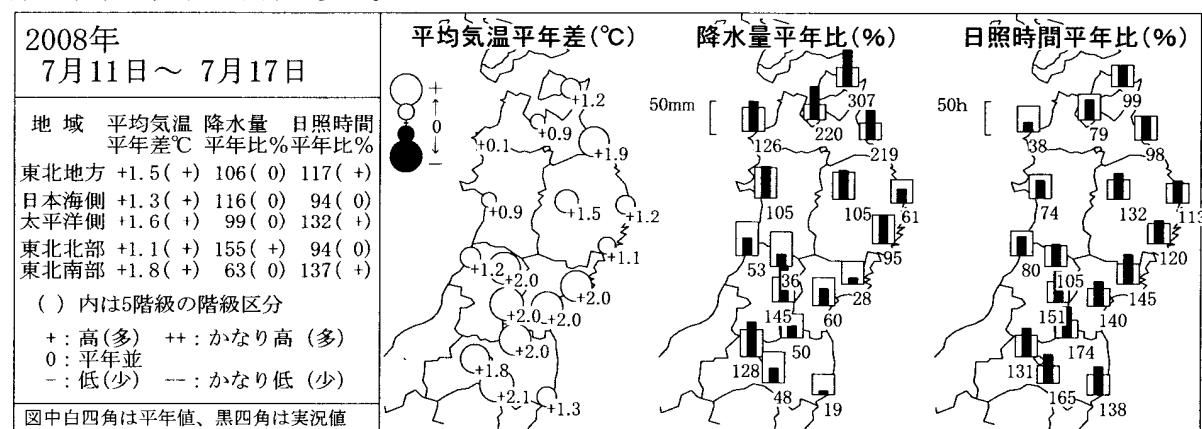
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (7月11日～7月17日) の天候の経過

この期間、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変わった。11日夜と14日には、低気圧が津軽海峡付近を通過し、東北北部を中心にまとまった雨となった。12日から13日にかけてと15日から16日にかけては、高気圧におおわれて晴れるところが多かった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）